

Project	地域協働専攻 国際協働グループ
01	The English Newsletter Project

メンバー	[学 生] 任 育成 / 鍵谷 姫歌 / 石神 真博 [担当教員] Andre Parsons
------	--

【背景】

私たちメンバーの中には、英語は好きであるものの4技能(Reading, Writing, Listening, Speaking)のどれかに不安を抱えているメンバーもいる。そこで、このプロジェクトでは、そんな不安を抱える人やむしろ苦手意識を持つ人にも、日常生活に取り入れることができる楽しい英語学習について考えた。

【目的】

前期は「楽しい英語学習」をテーマに SAS Express というニュースレターを作成し、大学生に効果的で楽しい英語学習を知ってもらおう。後期は「実用的な英語学習」をテーマに、参加者に楽しく英語に関する知識を知ってもらうため、日常生活において実際に困ったことを中心に、アクティビティを通して解決する。

【概要】

前期はお気に入りの映画紹介や早口言葉といった日常生活の娯楽と結びつけることのできる英語学習法や、検定や教材などの実際に役に立つ情報を提供し、大学生に効果的で楽しい英語学習を知ってもらうことを目的としたニュースレターを作成した。後期は事前にどのようなシチュエーションでの英語が求められているのかについてアンケートをした結果、「アルバイトで、外国人観光客が来店した際に困った経験がある。」また、「外国人の先生に対して、授業に関する質問や欠席連絡をするメールの書き方がわからない。」という声が多かったので、レストランでの接客とメールの書き方を2回に分けて英語学習アクティビティを行った。

【プロセスと成果】

①プロセス

次ページの年間スケジュールの通りである。

②成果

(1)ニュースレター

- ・読み手に伝わりやすいレイアウトや構成を考えることができた。
- ・日本語と英語で文章を書くことで、英語力の向上につながった。
- ・自分たちの英語学習についても見直すことができた。



ニュースレターのQRコード



(2)アクティビティ

- ・事前にとったアンケートを参考にして学生が希望する内容のアクティビティを実施した。
- ・レストランでの英語表現や英語のメールの書き方について学ぶことができた。
- ・アクティビティを行うことで、人前で話す能力が鍛えられた。
- ・学生にとって身近な話題の例文を使いながら説明することができた。



アクティビティの様子

【総括と反省・今後の課題】

①総括・反省

- ・情報を集めて分析する能力を身につけた。
- ・参加者同士の交流に焦点を置き、英語を使う頻度を増やししながらアクティビティを実施し、参加者から高い評価を頂けた。
- ・これまで、「誰かの役に立つような冊子づくり」や「学びが深まるアクティビティ」をしようと考えすぎていたが、その気持ちだけでは人は来ないことが分かった。
- ・英語に対し、苦手意識を持つ人も少なくないため、そのような人たちにも参加してもらうためには、楽しんでもらうためには、ということ意識して活動することができた。
- ・前期の計画を立てる際、メンバー間での日程がなかなか合わせるのが難しく、活動を進めるのが遅くなるがあった。
- ・アクティビティを計画しても参加者がいなくては成り立たないので、大学内の情報共有システム上だけで声をかけるのではなく、参加者をより効率的に集める方法を模索すればよかった。

②今後の課題

- ・引き続き英語を勉強するのはもちろんだが、次年度以降の地域プロジェクトのために、注意すべき点や工夫した点などをまとめること。
- ・具体的に、SNSを利用するなどしてより身近に感じられる宣伝を複数回に渡ってすることや友人らを通して、広く自分たちの活動を知ってもらえるような紹介をすること。
- ・事前に計画を立てることは重要だが計画通りに行かない場合もあるので、柔軟な対応をする必要があることや、後で忘れないように日時は可能な限り直近で設定する方が効率的であるということ。

【地域からの評価】

(ニュースレターの読者)

- ・ニュースレターが日本語と英語どちらでも書かれており、とても興味を引く内容で素晴らしかった。このニュースレターをもっと多くの人に広めるために、今後SNSなどを活用して情報発信できると良いと思った。

(アクティビティの参加者)

- ・新しい表現の仕方を教えてくれるたびに、練習させてくれたので頭に入りやすかったし、楽しく参加できた。また、表現をいくつも書いてくれていたので、自分の言いやすい表現を探せて面白かったです。
- ・自分が思っていたより正しいメールの仕方を知らないことに気付きました。今回のアクティビティを今後の欠席連絡をする際に役立てていきたいと思えます。

(一般的な評価)

- ・これからの時代は英語が必須になりつつあると思います。そういった、実践的な学習を大学のうちに学ぶことのできる環境を作ることや、英語が苦手な学生に対しての配慮を感じられた。そういった点で素晴らしいプロジェクトであると思った。

【年間スケジュール】

■前期

- 4月18日
地域プロジェクト初回(自己紹介など)
- 5月 2日・ 5月 9日
ニュースレターの内容についての話し合い
- 5月14日～7月25日
情報収集、ニュースレターの作成
- 5月19日
英語教材に関するアンケート作成・シェア
- 5月30日
オンライン英語アクティビティ1に参加
- 7月 4日
オンライン英語アクティビティ2に参加

■後期

- 10月18日
テーマ決め
- 10月25日
アクティビティ1の内容決め、広告作成
- 11月 1日～15日
アクティビティ1の準備、最終確認、リハーサル
- 11月22日
アクティビティ1の実施
- 11月29日
アクティビティ2の内容決め、広告作成
- 12月13日
アクティビティ2の準備、最終確認、リハーサル
- 12月20日
アクティビティ2の実施

